

第1回地域未来戦略本部 議事要旨

日時：令和7年12月4日（木） 18：00～18：10

場所：官邸4階大会議室

（概要）

（黄川田大臣）ただいまから、第1回地域未来戦略本部を開催します。議事進行役を務めさせていただく、副本部長の黄川田仁志です。よろしくお願いいたします。

○議題1「本部の運営について」

（黄川田大臣）それでは議事に入ります。まず、議題1、本部の運営について、ご説明します。資料1は、11月11日に閣議決定された、この本部の設置根拠です。資料2ですが、今後の本部の運営については、この運営要領に基づき行ってまいります。資料3のとおり、この本部の下に、私を議長とする関係副大臣等会議を開催することとしております。

○議題2「地域未来戦略の検討課題について」

（黄川田大臣）次に、議題2、地域未来戦略の検討課題について、ご議論いただきます。資料4をご覧ください。地域未来戦略は、地方が持つ伸び代を活かし、国民の暮らしと安全を守るため、後程申し上げる検討課題について、関係副大臣等会議で議論した上で、来年5月頃を目途に、政策パッケージを取りまとめることとしています。

検討課題は、大きく分けて、地域ごとの産業クラスターの戦略的な形成、地場産業の成長、この2つの柱です。1点目については、大規模な投資が期待される分野やそれが実施されるエリア、またクラスターを支えるインフラの考え方などについて検討を行った上で、知事とも連携しつつ、地域ごとの計画を策定します。2点目については、国の支援施策を整理し、伴走支援など必要なサポートを行いながら、知事主導で各都道府県の地場産業の成長プランを策定します。また、上記を実現するための手段として、（3）に記載の大胆な投資促進策と一体のインフラ整備や地域産業のエコシステム形成などについて検討を進めてまいります。

（黄川田大臣）私からは、以上でございます。それでは、各大臣から発言をいただきたいと思います。まず、林総務大臣、お願いします。

（林大臣）地方の「伸び代」を活かすため、まず、地域の成長につながる施策を

都道府県域を超えた官民の連携により、点から面に展開するため、「広域リージョン連携」の取組を推進します。現在、6地域（東北、北陸、中部、関西、中国、九州）で宣言が行われております。今後、各府省と連携して具体的なプロジェクトの実施を後押ししてまいります。

また、地域経済の好循環を進めるため、「ローカル10,000プロジェクト」の支援件数の拡大などに取り組みます。

加えて、強い地方経済の実現に向け、その基盤となるデジタルインフラの整備や、通信インフラと電力インフラが高度に連携する、いわゆるワット・ビット連携によるデータセンターの地方分散等を進めてまいります。

（黄川田大臣）次に、金子国土交通大臣、お願いします。

（金子大臣）国土交通省でも、地域未来戦略の推進に向けて、施策の推進・充実を図ってまいります。戦略産業クラスター形成については、私の地元熊本県へのTSMCの進出による、地域経済への波及効果や、周辺地域を含めたインフラ整備の重要性を身をもって実感しています。関係省庁とも連携しつつ、企業や地域のニーズを総合的に勘案しながら、必要なインフラ整備を推進してまいります。また、地場産業の成長の観点からは、観光地の高付加価値化等を通じた投資・ビジネス展開支援を推進するほか、物流・建設業等における処遇改善や二地域居住の促進等による地域経済を支える人材の確保・育成、「地域生活圏」の形成や「交通空白」の解消等によるエッセンシャルサービスの維持向上に取り組むことで、持続可能な地域産業のエコシステム形成に貢献してまいります。

（黄川田大臣）次に、赤澤経済産業大臣、お願いします。

（赤澤大臣）地域の成長なくして、日本経済の成長はありません。経済産業省として、地域の産業クラスター形成を通じた「地域未来戦略」の推進に全力で貢献してまいります。先月には、北海道のラピダスへの出資を公表しました。このような大胆な投資が、周辺地域の関連投資を誘発し、持続的な賃上げを生むなど、面的な波及効果を生むようなモデルを全国各地に広げていきます。産業クラスターの形成には、地域の元気な中堅企業や、高専をはじめとする若い力が必要です。地域の潜在力を最大限取り込みながら、インフラ整備と一体となった、地域の産業クラスター計画をしっかりと練り上げていきます。その際には、集積立地を可能とする、スピード感のある産業用地の確保等が不可欠です。そのための法制的措置を早急に検討し、全国各地の産業クラスター形成を支えてまいります。

（黄川田大臣）次に、片山財務大臣、お願いします。

（片山大臣）地方が持つ伸び代をいかし、地方に活力を取り戻していくことが重要です。先般策定した経済対策では、重点支援地方交付金において、足元の物価高に対する家計への支援措置のほか、中小企業・小規模事業者の賃上げ環境の整備をメニューに追加するなど、地域のニーズにきめ細かく対応することとしております。

また、地方経済やビジネスを支える金融の役割が重要であり、地域経済の成長に地域金融機関が一層貢献できるよう、関連施策をパッケージ化した「地域金融力強化プラン」を年内に策定し、強力に推進してまいります。こうした施策の実施を通じて、地域経済に貢献してまいります。

（黄川田大臣）次に、城内国務大臣、お願いします。

（城内大臣）11月21日に閣議決定した「強い経済」を実現する総合経済対策では、地方に投資を呼び込み、成長分野の産業クラスターの形成を加速するとともに、地方発の世界をリードする技術・ビジネスの創出を後押ししていくこと、また、中堅・中小企業の稼ぐ力の強化に向け、「100億宣言企業」の投資への支援を強化していくことなど、「稼げる」地方経済を作り出すことに資する施策を盛り込んだところです。

11月4日に発足した「日本成長戦略本部」においても、「地域未来戦略本部」と連携し、成長戦略の取りまとめに向けて、必要な検討を進めてまいります。また、地域未来戦略の取組は、人口減少への対応という観点からも重要であり、私が副本部長を務める「人口戦略本部」とも密に連携していきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

（黄川田大臣）次に、松本文部科学大臣、お願いします。

（松本大臣）文部科学省においては、地域未来戦略を推進するために、テクノロジーや地域資源を活用した付加価値の創出や、若者や女性も含めて、地方に住み続けられるようにするために、質の高い教育の提供等に取り組んでまいります。具体的には、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する自治体の取組に対する支援、大学を核として、産学官金などの関係者が、地域の人材育成のあり方などを議論する場の構築、地域性や特色等を踏まえた先端的な研究環境整備の促進や地域の課題解決にも資するスタートアップ創出・成長に向けた支援、地域の文化資源を活用した文化観光の推進や、スポーツツーリズムのコンテンツ創出等への支援等の取組を通じて、地域未来戦略の推進に貢献し

ていきたいと考えております。

（黄川田大臣）次に、鈴木農林水産大臣、お願いします。

（鈴木大臣）我が国の農林水産物は海外からも評価が高く、また、観光資源となる質の高い食文化等がある。更に、食の将来を見据え、今後、スマート農業技術の開発と普及、植物工場や陸上養殖、フードテックといった先端技術にも投資をしていくことが必要です。

これらの多様性に富んだ地域資源やテクノロジーを活用して更なる付加価値を創出するとともに、農林水産業・食品産業のみならず、医薬品や化粧品など他産業との組合せによる産業クラスターの戦略的な形成や地場産業の育成により、これらを日本の稼ぎの柱としてまいります。

それに向け、農林水産省としても、現場主義で地域ごとのオーダーメイドの取組を進め、中山間地域も含め我が国の田畑をフル活用しつつ、農林水産業・食品産業を稼げる産業にし、次の世代により良い形で確実に継承することで、国民への食料の安定供給を確保するとともに、地方に活力を取り戻してまいります。

（黄川田大臣）以上、私からご説明差し上げた、内容につきまして、御異議ありませんか。

（「異議なし」との声）

（黄川田大臣）皆様に御了承いただきましたので、そのように進めさせていただきます。

最後に、高市総理からご発言をいただきたいと思います。プレスが入室いたしますので少々お待ちください。

（報道関係者入室）

（黄川田大臣）高市総理、それではよろしく申し上げます。

（高市総理）お疲れ様でございます。この内閣は、「地域未来戦略」を推進します。

政府は、一歩前に出て、地域を超えたビジネス展開を図る企業を支援し、大胆な投資促進策とインフラ整備を一体的に講ずることで、地方に大規模な投資を呼び込み、地域ごとに産業クラスターを戦略的に形成していきます。

大胆な投資が更なる投資を呼び、地域の皆様には、手取りが増える、質の高い

教育が受けられるといった、目に見える形で、着実な変化を実感していただきます。

まずは、世界をリードする成長分野の「クラスター」、地域発の「クラスター」を全国各地に形成して、地方から日本を成長軌道に押し上げていきます。

そのため、黄川田地域未来戦略担当大臣を中心に関係大臣が連携して、前向きな地域クラスター計画を有する自治体との間で、複数の自治体をまたがるインフラ整備の加速も含む、地域の産業クラスター計画が効果的なものとなるよう、政府が行うべき施策についての協議を早急に開始してください。

加えて、地方には、可能性を秘めた魅力あふれる地域資源が多数存在しています。地方の伸び代を最大限いかすために、各知事が主導する「地場産業」の成長プランを強力に後押しし、その付加価値向上と販路開拓を支援するパッケージを策定してください。

これらを実現する具体的施策として、まずは、新たに「地域未来交付金」を設け、各自治体による産業クラスター計画や地場産業の成長戦略が、真に地方の活力を最大化することにつながるよう、従来の地方創生関係施策も含めて見直しを進めてください。

また、重要なインフラであります産業用地の確保や地域のエッセンシャルサービスの維持向上を実現するための法制的措置について、関係省庁が連携して、検討に取り掛かってください。

さらに、中堅・中小企業の投資やビジネス展開への支援、地域発のイノベーションの創出、地域の産業を支える人材確保・育成支援など、地域の産業のエコシステム形成を強力に後押しする措置を検討してください。

黄川田大臣は、これらの措置について、できるものから早急に実現するとともに、「地域未来戦略」の政策パッケージを夏までに取りまとめてください。以上です。よろしくお願いします。

（黄川田大臣）以上です。プレスの方はここで御退室ください。

（報道関係者退室）

（黄川田大臣）以上をもちまして、第1回地域未来戦略本部を終了させていただきます。ありがとうございました。